

製本工程を自動化して安定供給体制を確立 多種多様な製本で顧客の要望に応える

製本工程に手間と時間を要していたことから困難だった納期短縮を、
新導入の無線綴機による自動化で実現。多彩な製本も可能となり、販路拡大にもつながりました。



営業企画

鬼束 雄人
おにつか ゆうと

製本作業の自動化で納期短縮を実現
新たな展開も視野に

製

版から印刷、製本までの一貫作業で、冊子やチラシなどさまざまな製品に対応する同社。デジタル化の進展に伴う需要の変化を見込んで導入したオンデマンド印刷機による短納期・多品種小ロットの印刷を強みにしています。

近年、顧客からの入稿が紙からデータに移行するにしたがい、さらなる短納期を求める声が増えてきたようです。

「本の生産工程は、印刷した紙を断裁した後、製本↓乾燥↓仕上げの流れなのですが、この内の製本工程は工程数が多い上、熟練の技術が必要だったので時間を要していました。お客さまの要望に応えて納期を短縮するためには、製本工程を見直すほかありませんでした。」

課

題だった製本工程を解決すべく導入したのは、タッチパネルで数値等を入力するだけでセッティングが完了する最新の無線綴機。この機械によって製本工程のリードタイムは劇的に短縮されました。

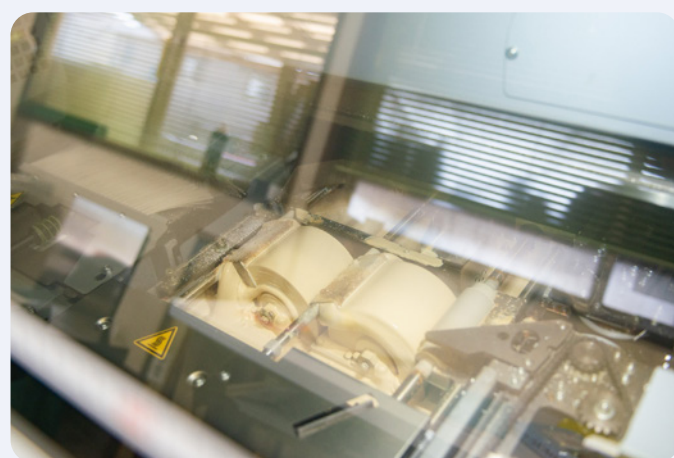
「これまでは、冊子の厚さを測ってその厚さに最適な糊の量を調節するなど実作業にかかるまでに30分以上の時間を要していたのですが、それがなくなりました。しかも、これまでオペレーターがつきつきりだったのが解消されたことで、後工程の断裁と並行して作業ができるようになったんです。」

こうして製本工程を刷新した同社は、納期を短縮させることに成功。顧客のニーズに応えると共に、新たな強みを武器に新展開を見据えています。

ものづくり
補助金活用
ココが
ポイント!

生産性が33.7%向上

熟練の技術者が手作業で行っていた製本工程が自動化されたことで作業時間が2時間から40分に短縮。目標としていた受注から5日での納品を実現することができました。

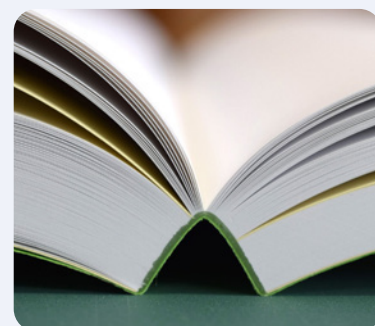


品物に合わせて熟練工が調整していた糊の量も厚さに合わせて自動調整してくれる。

タッチパネルディスプレイに製本内容を入力するだけですべてのセットアップが完了する。



冊子の厚さも自動で計測。自動化されたことで品質も安定し、不良率が5%から1%に低下。



一般的なEVA糊より耐久性が高い上に、開きがよいPUR糊を使った製本も可能に。

ものづくりへの想い

自分が手掛けたものをさまざまな場所で目にするのですが、その際に社会と自分の仕事とのつながりを実感できる。それが大きなやりがいになっていて、もっと良いものをつくろうという原動力になっています。

今後の展望

この機械を導入して課題を解決できたことで、当社の強みである品質・技術・価格・納期面においてさらなる優位性を確立することができました。この先、さらに競争力を高めてさまざまな展開をしていきます。

case
05

印刷業
有限会社 いろは企画

設立：1995年
資本金：300万円
従業員：8名
事業内容：印刷・製本

〒889-1603
宮崎県宮崎市清武町正手3丁目19番地2
TEL.0985-85-5889
FAX.0985-55-0888

<https://iroha-pro.com/>

